

ふらつ。ふ通信

社会福祉法人
なづな学園
サービスセンター
ふらつぶ

『新任のご挨拶』

始めて、4月1日付でふらつぶ・わかなか所長として赴任いたしました北野幸雄と申します。

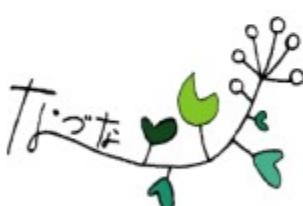
私は、鉄鋼業の情報システム技術者を平成26年末に退職、その後縁あって昨年の6月からなづな学園の本部IT（情報）担当としてお世話になつております。もとより社会福祉とは無関係な職場出身でございますが、今まで培つてきた製造現場運営や人事・組織・業務管理などの経験が少しあは役に立てるのではないかと思っております。赴任後は情報連絡面では折に触れ、職員や登録ヘルパーの方々とコミュニケーションを密にとり、また介護技術面では介護職員初任者研修を通じて、理論と実践を学習することで、職場に溶け込み、実践的で有効な役割を早く果たせるよう頑張つてまいりますので、どうぞよろしくお導きのほどお願い申し上げます。

また放課後等ディサービス事業であるわかなかは丸3年を超えて4年目に入りました。ひとえに利用者・ご家族のご理解と

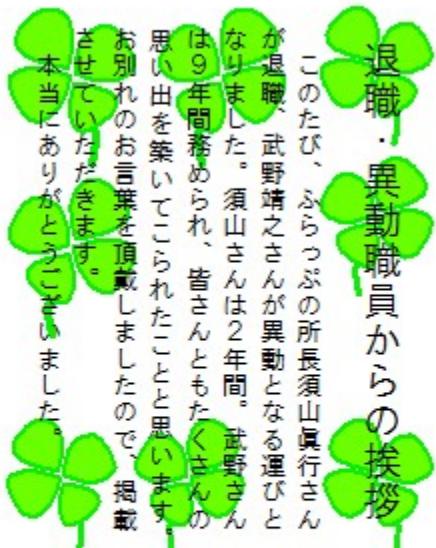
さて、桜の季節を終え、つつじが満開となり、青葉が目に鮮やかな季節を迎えました。

ふらつぶの居宅介護・行動援護・移動支援事業も12年目を迎え、利用者及びご家族の方々のご愛顧をいただき、ますます利用者サービス拡充を続けております。干支は12年で一回りいたしますが、ここで改めて原点に立ち戻り、障がいのある方の人として当たり前の暮らしを支えること、介護サービスの質を高め、利用者・ご家族の要請にお答えするにはどうしたらよいか、を考えなおし、利用者が必要とされるサービスをできるだけ利用者の方々にお届けできるよう、組織を挙げて職員・登録ヘルパーの介護スキルを上げていけるよう、少しずつ前進してまいる所存でございます。

最近は、障がい者施設での悲しい事件が発生して、非常に残念な結果となつたことも、ございますが、我々は他山の石としてそのようなことがないよう日々反省し、信頼される事業所を目指して努力していくことを考えております。これからも、どうぞよろしくご愛顧のほどお願い申上げます。



退職・異動職員からの挨拶



このたび、ふらつぶの所長須山眞行さんが退職。武野靖之さんが異動となる運びとなりました。須山さんは2年間。武野さんは9年間務められ、皆さんともたくさん思い出を築いてこられたことと思います。お別れのお言葉を頂戴しましたので掲載させていただきます。

本当にありがとうございました。

この2年間で改めて教えられたことがあります。障害のある方々、その家族の方々、支援者の皆さまから学んだことです。

もう何十年も前になりますが、障害のある方々の自立ということに関心を強くさつに代えさせていただきます。

喜びを生み出すことは簡単なことではないようです。まず、支援者が確固たる姿勢で臨むことが求められるようです。時間と忍耐が不可欠だらうと思われます。保護者や支援者が、出来る限り利用者さ

るのでしょうか。私も時々、利用者さんと向き合うことがあります。その時の反省です。つい手を出して手伝ってしまうのです。一例をあげると、防寒着を身に付けるとき、ペテランの支援員は「自分でやりなさい。どうしても出来なければ手伝います」と一呼吸置きます。私の場合は「着せて?」の目配せにより「はい」とついやってしまうのです。恐らく日常生活で無数に展開される支援実態のひとつと思うのですが、障害のある方々からの「助けて」なのか、それとも甘えなのか、これを見極める支援員の力量に関わることだと思います。

何人かの保護者の方々の立居振舞を見ました。「自分でやりなさい。自分で覚えなさい。支援員さん、後ろから見守つてください」実際に明快な言葉かけです。信じていることがあります。障害のある方が、親からも言われ、支援者からも言われ、周りからも何かと言われる中で、悶着もありながら何かが出来るようになることはきっと無上の喜びだらうなと。

人の向かっていく先々に相互理解を有することも大切なことと思います。

苦労した後に、障害のある方の喜びと支援する者の喜びが一致することは素晴らしいことです。私がそうした場面に何回か遭遇できたことに改めてお札を言いたい気分です。

幸いにも、日常生活・社会生活を支援する制度は一通り揃いました。

これからも一層、障害のある方々の日々の生活が円滑に進み、今日は良かった、明日も頑張ろうとなることを心から期待しています。

私自身、4月からは地域の一市民として、又、家族の手前もあり何か自立出来ることの見出しと実行の日々を目標として、少しでも元気で暮らしていくればと思っています。

2年間の短い勤務でしたが、本当にありがとうございました。

最後に、皆さまのご健康とご多幸を心から祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。

須山 真行



私、武野は3月をもちましてサービスセンターへふらつぶからなづな学園に異動いたしました事となりました。

ふらつぶに勤めさせていただき9年という年月が立ちました。本当にあつという間の9年間でした、書ききれないくらいに思い出がいっぱいです。多くの方に出会いう機会をいただき、たくさんの方を学ばせていただきお教えいただきました事、感謝に堪えません。本当にありがとうございました。

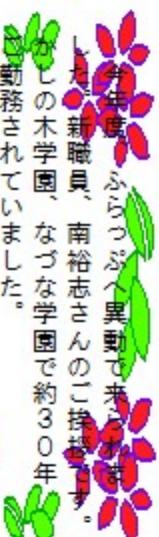
話は少し変わりますがこの文章を書いている際に私が初めてふらつぶ通信で挨拶させていただいた際の文章を見た際に皆さんの役に立つヘルパーになれるようになりますと大それた事書いていたのだと思い返し恥ずかしくなりました。ただし思いました、少しは皆さんのお役には立てたでしょうか？私はそのような実感全くなく：皆さんに助けていただいてばかりのダメなヘルパーだったなあと反省ばかりです。本当にすみません。

4月からは全く経験のない未知の世界でまだまだ実感なく、不安なこともたくさんあります、利用者さん方それぞれ生活の一助になれるように一生懸命頑張っていきたいと思っております。

書面での挨拶となり恐縮ですが本当にありがとうございます。

またどこかでお会いすることありますたらよろしくお願ひします。

武野 靖之



桜花満開の春～あわふわと春の風と共に～

春～清明の風に誘われてなづな煙を飛び立つ種はどこまで飛んでいくのか・・・

舞い降りた先は、花園の地。いい所に舞い降りる事が出来たことに感謝～ありがとうございます。初めてまして“南 裕志（ひろし）”です。

簡単な自己紹介

生まれ育ちは♪六甲おろしに・♪甲子園。今は♪われくは湖の子・♪大津に住んでいます。特技は、おしゃべり。老若男女、外国人おかまいなし～よく話、よく話、よく話します。趣味は♪街ぶらぶら、バイク磨き（乗りなはれってか？）

良い点は、どっから見ても「顔」かな？悪い点は、自分が一番正しいって思っているところ。自分で意識していませんが、職場の上司や、家の奥袋にも言わるので“そくなんや・”今から直るかな？



南 裕志

新しい職場、前の職場を離れる時にこんなことを伝えてきました。

今日1日 貧しい人や病んでいる人々を助けるために私の手をお望みでしたら今日、私のこの手をお使い下さい。

今日1日 友を求める小さな人々を訪ねるために私の足をお望みでしたら今日、私のこの足をお使い下さい。

今日1日 優しい言葉に飢えている人々と語り合うために私の声をお望みでしたら今日、私のこの声をお使い下さい。

※マザー・テレサの言葉より

ふらつぶの支援は、この言葉に尽きたと感じています。皆さんこれからいっぱいおはなししましょ！話をする事で、お互い理解を深め、地域での生活がすこしども豊かになるように微力ではありますが、支えて行く事が出来ればと考えています。

なづな煙を飛び立ち、花園の地に舞い降りた新しい種です。既に咲いている仲間たちといっぱい花を咲かせ、良き実がたわわに実るようがんばります。

皆さん～『ふらっぷブログ』ご存知ですか？？

以前、お伝えしました「Facebook」の他に、ふらっぷではブログを月1回更新しています。

今回は、昨年更新した中から、一つ掲載させていただきます！！

URL：<http://flap.sblo.jp/> 桜窓してみてください♪♪



「ニフレル」に行ってきました♪

先日、移動支援で大阪万博公園にあるニフレルに行ってきました。

2015年11月にオープンした施設ですが、私自身、初めて行き、利用者さんと一緒に感動しました。海遊館がプロデュースした「感性にふれる」を展示のテーマに7つのゾーンがあります。

まず入場してすぐ、「色」をテーマにした展示があります。

ここでは、映画「ファインディング・ニモ」に出てくるカクレクマノミやナンヨウハギが展示され、会場からは「ニモ～♪」と聞こえています。



「わざ」をテーマに、魚の生体を体験することができます。

ドクターフィッシュで有名な角質を食べる魚

指一本だけ体験することができます。

「すがた」をテーマに、薄暗い中に、深海生物や発光する魚達が展示されていました。

その他には、「ワンダーモーメンツ」という空間アートや、「みずべ」に住む生きものや猛獣が出迎えてくれます。「うごき」はペンギンやカビバラなどの可愛らしい動物たちが展示され、癒されます。最後の「つながり」は映像体験で、自然・生きもの・人間・現代社会にある「同じもの」と「違うもの」、「つながり」について考えさせられました。

海遊館と比べ館内は広くないですが、これまでの水族館とは違い、様々なコンセプトのもと、魚たちとの距離が近く、「躍動的」で、「感性にふれる」ような体験ができました。

生きもの達に、興味がわくような施設ですね。

みなさまも是非、体験してみてくださいね。



ニフレル入館料 大人：1人 1900円 こども：1人 1000円

※障害者手帳で、本人と介助者1名は半額で入場できます。

編集後記

新緑が香る過ごしやすい季節になってきましたね。皆様いかがお過ごしですか？
今年度最初の発行となりました今回は、退職・異動職員さんの挨拶とふらっぷに来られた新しい職員さんの挨拶をそれぞれ掲載しています。毎年出会いと別れの季節はやってくるのでその都度色々な感情が渦巻きますが、新体制になっても職員一同変わらず利用者さんの生活に寄り添ってまいけたらと思っております。今年度もふらっぷをどうぞよろしくお願い致します。（U）